

30

20

10

3

1

7

8

9

5

6

4

3

2

1

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

利12

1116

2

續
物語
下



伊勢物語下



伊勢物語下

(罷)

ひつ。男ひつとひつとおへげあつまをやくとて
うらみゆびうらゆあまとのひとげんちをそぞ
やきこえそぞり。うへ

(卒)

初まのうどめざしきまのみとぞうあをよひそゑ
ひつ。れどこありそり。うへひつをうみく

とうじこととばづとをひかるもむかわ人をねりすのうへ

とづうされば

あはれもひまえのうてりあひだほけ世とみそぐき
まされとこ

ふく風よあだれ櫻ちばもあまきがひのあわ

又女うへ



り。水はねく。うもけ。かたがたを。やうううう
やまととこ

ゆく。あとすぐり。ひたちをとづねて。まよへ。
あさく。がみよ。まよ。男女の。思ひ。ありき。あき。す。うふべー
全一むく。あとこの。せんざい。まく。へく。く。ふ

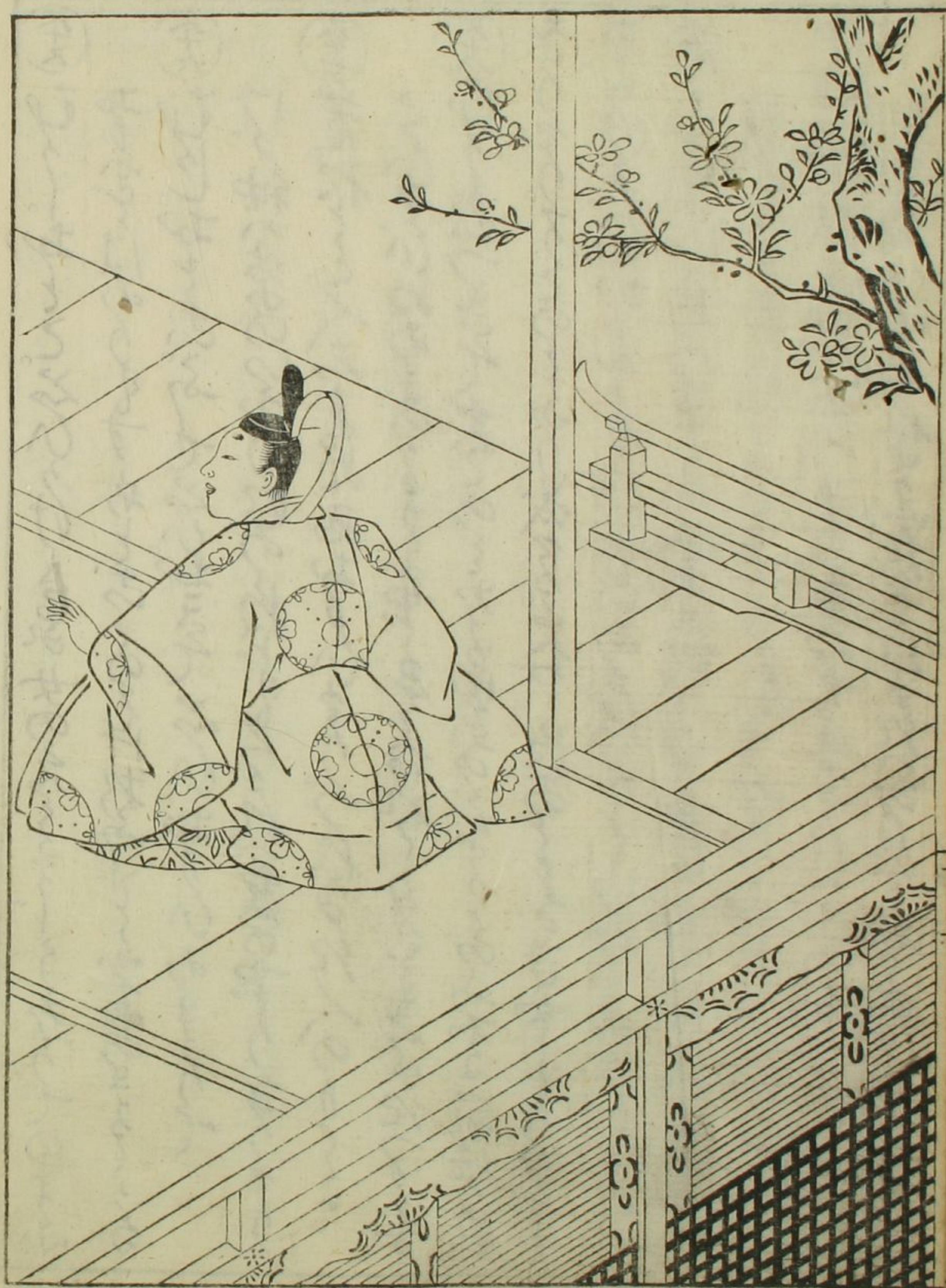
トト。ハ。ぬ。う。な。ま。や。さ。ば。と。た。そ。ち。わ。ね。う。く。や。

全二昔。男あり。うの。洋。せ。う。ち。ま。に。ま。セ。く。け。五。三。れ
あ。や。あ。う。老。ぬ。ま。ぞ。ほ。ど。ひ。く。我。い。せ。ふ。か。く。う。ぞ。ほ。く
と。と。き。ト。を。う。ん。や。う。け。

全三むく。男。あ。い。く。な。女。あ。ひ。物。癡。する。や。く。の。ま。き。く。れ
い。で。り。く。ま。の。ま。く。人。春。れ。ど。な。す。る。や。ま。ご。承。ふ。く。れ。ト

全四むく。あと。ま。ま。う。と。け。女。よ。ひ。や。う。け。る
絶。や。ぬ。ゆ。ら。だ。ぐ。る。る。や。く。は。あ。ま。ま。く。め。つ。を。き。く

全五むく。あと。こ。と。ひ。う。け。く。ま。女。の。え。う。き。う。う。ち。う。の。よ。ふ
や。き。は。あ。り。も。す。や。と。ま。の。と。せ。ね。や。ど。か。あ。の。ま。う。く。う
全六むく。あと。ま。ふ。う。と。け。女。よ。ひ。や。う。け。る
ワ。袖。へ。ま。の。ひ。う。に。あ。ね。ど。も。う。れ。寝。の。や。う。う。う。う
全七首。れ。と。く。あ。き。ぬ。お。あ。ひ。う。う。づ。れ。う。と。く。人の。り。く。よ
う。ひ。う。び。ぬ。あ。ま。の。う。う。よ。や。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う
全八むく。ひ。つき。そ。ま。ご。の。み。か。る。男。う。う。を。と。く。て。ふ。ま。家。ほ。く
き。う
う。う
あ。れ。ま。う。あ。れ。つ。よ。の。や。う。れ。や。す。み。ん。の。を。と。づ。れ。も。せ。ぬ
や。う
ひ。う

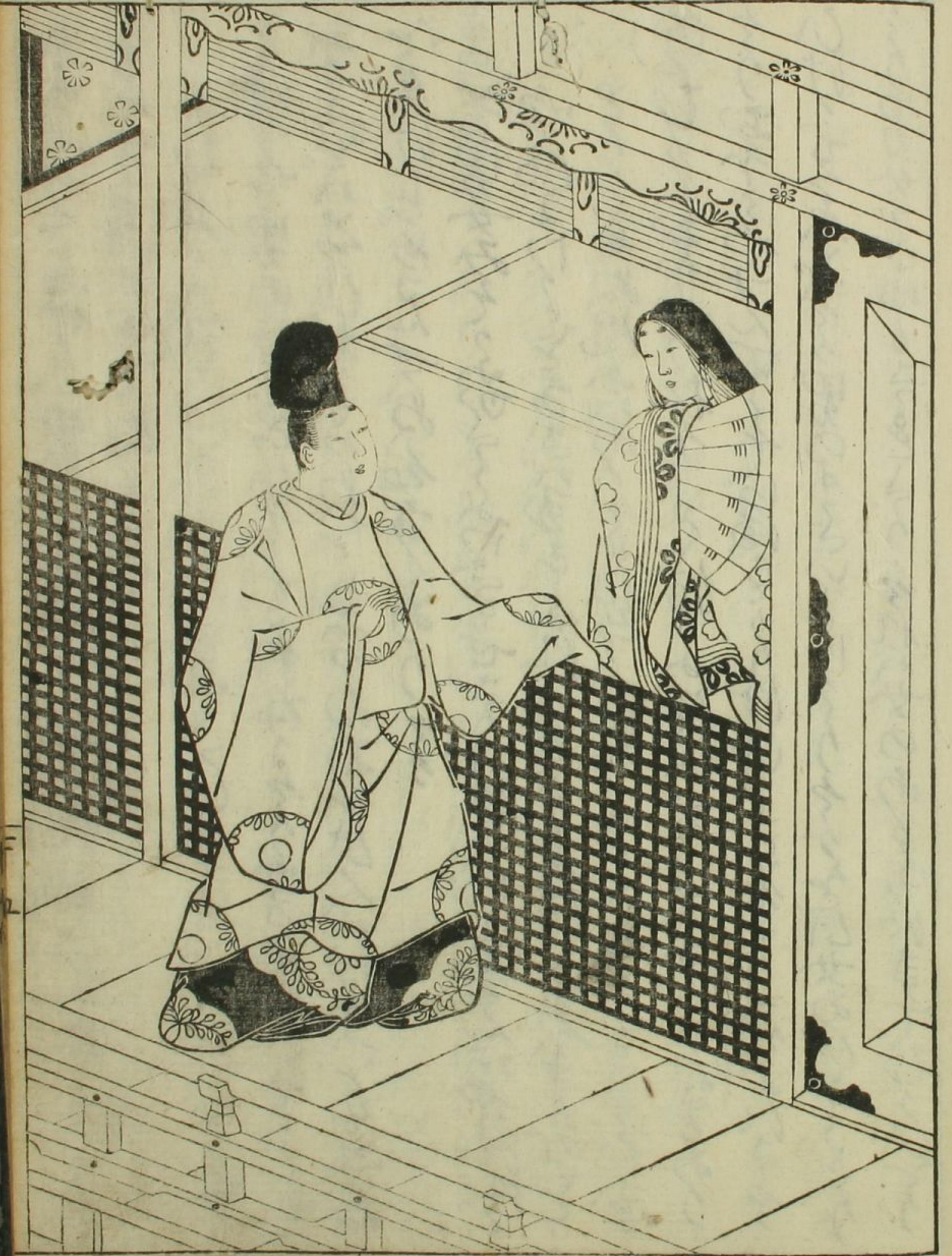


とえうん出でうけ。ば女とよがひろくとひのそれど
もじまじてあらがひのうとまきませば我もゆつてのほやと
（空）ひく。男。家とひく。とひくひぐふすまんとひく
すみひぬくがまるとひくふをかく。くせるもあん
かく。ねじくやま。あくべうけをばがてひまきをひて
わく。くよ寝でたかうえのゆとひくひまの方をばく。
とうんじひくいきゆうけ。

（卒）昔。男有さう。まほくそがう。心もまわなう。ざうけ
経の。つじじまあふふくとよづまく。くわゆつよく。ば男
うきのほくひくそ。しきけふ。あうまのまくわくの。やうすん
みとよそ。女あうだにうけとくせよ。うそのまくわくひく
が。うけがて。あくべうくふ。さうかたりけしめしれをとりそ
さつきまうれぞれの。せばむせんの。ゆ乃ひぞう

とうひくそでぞ。さひ先。あまたあて。づよひくぞあうけ。
（卒）ひく。男。まくまでひきうちくふ。これうるこのむを
りよ。すまみと。すれの。うらうれの。ひくをかへて
（空）うれの。ひくをひく。うれの。ひくをかへて
女くー

（空）名あ。おぐあ。ひだぞ。おぎたれ。ぬ波のめぎねかへとく
もじまじてのこふはきて。人の國からけり。よづれて。りと
りくがまくみでまく。おくをかたじかく。よまくのあくえ
きとあくでにひく。をこせうく。男まれをあく。あくと
いづの。めがひく。ひく。ひく。ひく。ひく。ひく。ひく。
と。ひく。と。ひく。と。ひく。と。ひく。と。ひく。と。ひく。
も。ひく。と。ひく。と。ひく。と。ひく。と。ひく。と。ひく。



この歳もあつまきのれつ年内あれど、ゆうがすうき
と。ひじてせぬかとをされど、撫ておぎまくじらぬにんをあだ
卒三むす。せざらうほうう女づそひかみけあん男ふあひえ
て。うまととくべどじひせんもたうす。まうぬゆうう
とき。ふこくをよひてからうう。まうせふくみけちい
らへてやまぬ。まうかうかうかうふくよにれ男そわくえん
とあはすまよけ女けーきひとよ。あくへいとあみけは。
ゆうてばくごかねよあはせしげあととふるあり。物
あうきけくふじきあひてたそものくらとみて、かく
きんとよとひさればあれりうてきてねまう。ねのち男足
くまうけむ。女男のりくまうてくまみうと。男のうみそ
りとせつひくせうぬほりゆうとくじめびよる
とそきくみけきくとてむづかくらひくうて。かく

きそうちあやう。男の女めやへやにせびとてえ
きべ。女うけさんねと

こもろよ衣にさかひやくきくよありその後
と。徳と男あれとおひて。モキテ。せやれとて。
ありとハシヒ。おとりぬと。アリねおと。けいだりと。モノ
と。モケラメアと。セねをすんありと

○
○
○

○
○
○

○
○
○

あひや。どみに川よやアミだれうけどもあつけふ
とづひてうんしき。

じみどがやうらうくおり浦てやみの山石をゆす
ひく。ゆく冬はとたまくてゆきをみて女ひゆうちまき
す。からゑよまくまくで。すくせばかくかさく。け
男よやざれてとくうんぢむ。がふやふみどさり
やほけて。け男とへきつうて。されば。女ひとこみやと
あそべぬとさせて。うにこやとあそぶされ公はりうゑ
あ風のうのなまし室の残るやねをあそぶ。世公はりし
とおきそれば。じかく。れく。よう和あくふきつ。まえどもす
うやふそそごゑへかれて。われはまひく。されば女公はり
こううがく。うもひ。あかく。すどうひく。まもあて。うゑ
うとうやあかく。もあられある。あぬ身をあまきて

と。あひき。男へ女へあひ。がしあひき。の國。うき。かくふ
ひく。ひれと。かわねゆ。コアキ。やさみ。さみ。れ浦
水の庵の因。あじ。かわす。す。も。そ。も。か。れ。れ。や。み。ま。の。庵。
主も。し。おとこはの。あ。あ。前。み。く。ふ。あ。に。と。あ。ぐ。ら
主ひ。き。あ。あ。の。う。ふ。ひ。く。う。あ。き。か。れ。れ。が。ふ。も。の。み。と。ア。て
ち。あ。ば。を。け。こ。そ。の。だ。き。ひ。く。れ。や。こ。の。ト。と。う。み。り。く。ふ
こ。れ。を。あ。く。れ。ぐ。て。ん。く。う。に。く。

主七。首。男。せ。う。え。じ。ゆ。あ。ぐ。ら。ふ。つ。の。國。き。ゆ
あ。ぐ。る。い。ま。う。が。う。の。く。ふ。く。あ。の。ゆ。を。み。れ。が。ぐ。り。う。に
れ。え。立。ゆ。る。を。や。ほ。那。ど。り。く。の。う。ひ。く。く。れ。れ。う。あ。の。あ。う
本。の。ま。み。う。う。う。う。被。と。み。く。か。の。ゆ。と。の。う。じ。う。ひ。く。う。被。う
き。の。う。き。う。う。あ。う。う。ひ。く。う。う。れ。め。も。と。う。と。う。う
主八。首。男。づ。の。國。い。ま。う。す。み。う。せ。う。う。に。ま。の。雪。す。ま。の。

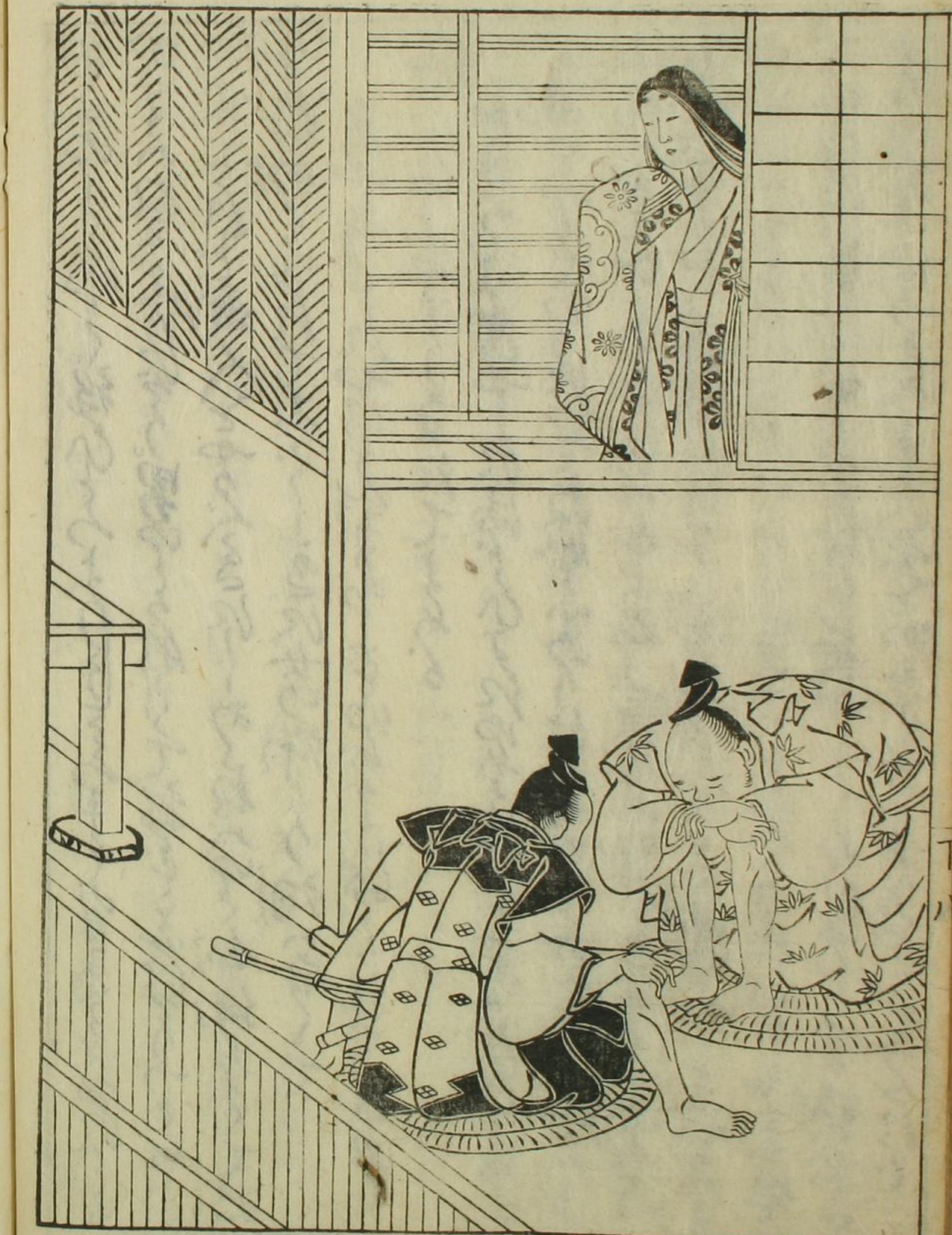
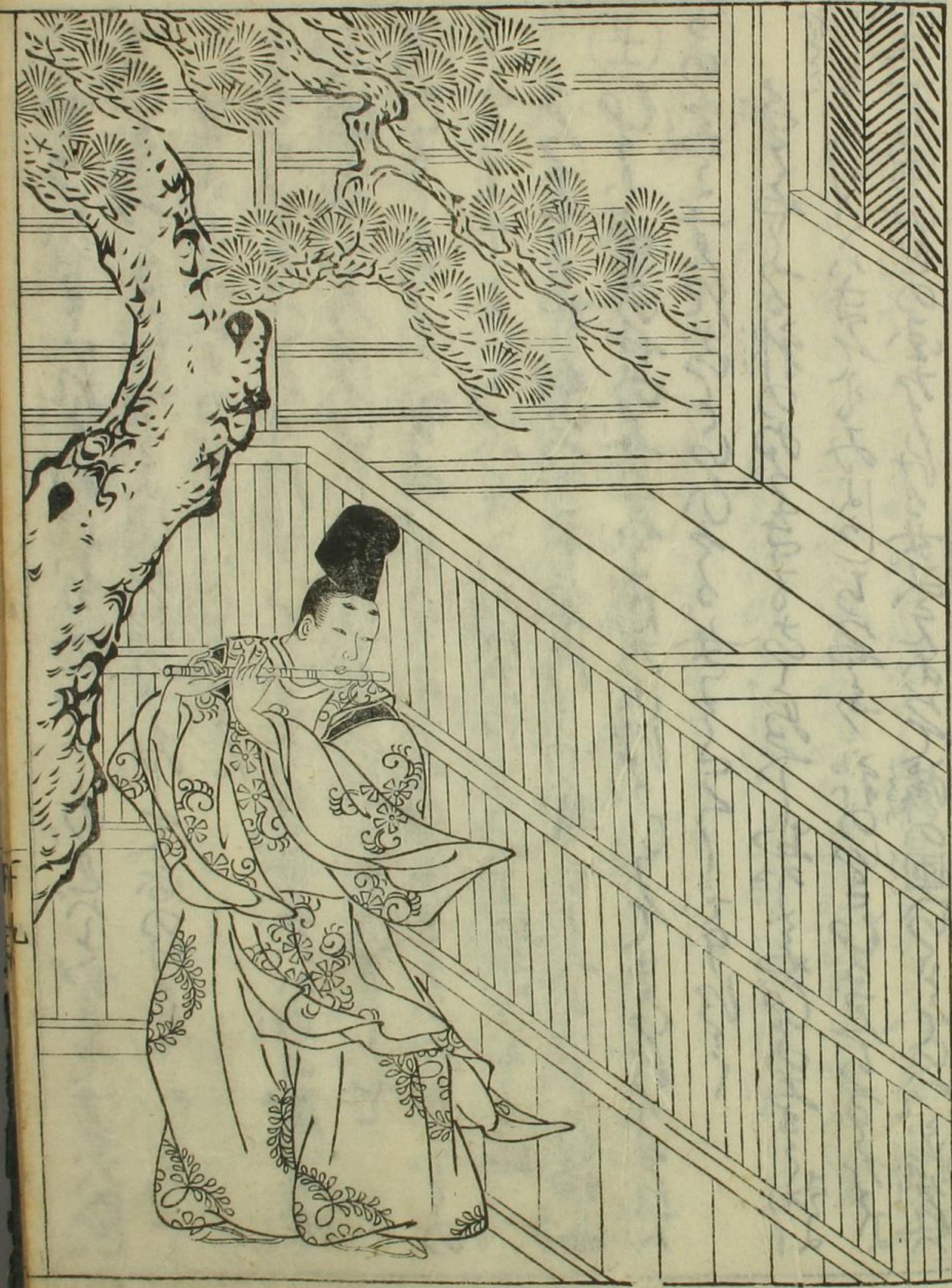
後とほよとおもひられまうがつゆくに候す候とよあとす
居あまきを薦めねうれ秋あれどまのうん(よまやう)のと風

と。よめうけまじがつとあくべとあどちりにうり

卒^ハ著男えくそ。ま男いせの國よ。がうのつうひよさかるよ。のを
の海えきうけぐのあや。たのつうひよげくとくとくとく
わうけはとば。あやのことぬれば。とねびうよううけ。禁
ハゲリみどりくわ。のざうはうつ。そとにごをきう。くと
絆くわゆううけ。二日ともあれ。男これてあんとく。女を
もじとありとありとだ。とくとくとくとくとくとくとく
さんとありとありとありとありとありとありとありと
女とあひて。ねひくびぐりよ。男のかくよあうう。男はくね
もくうううれとくとくとくとくとくとくとくとくとく
さうとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

西よかくひく。ねひくとうじくまぞ有よ。すゞかくよ
せうへぬよ。うじく。男とくめくと。ねどあくくづとく
ひじくされど。我人とくじくに。あねば。とく。洋かくて。ね
きくねくされど。あく。きに。女の片とう泊らきて
えやさ。それやがえんむすわ。とくゆくねて。くらで
あとこ。とくゆくうれて。とく

卒^ハがきくはのやに。あひくはのやくはと。とく。ひくよ
と。後でやうて。めに。で。ね。せふ。あひけと。かく。くじく
人あづめと。とく。あくと。とく。くふのくじくのくのく
かく。くのくのくのくのくのくのくのくのくのくのくのく
あく。あく。もえ。せ。あ。け。く。う。れ。あ。く。あ。と。す。れ。男。も。く。れ。
ちのく。あ。が。く。せ。ど。え。あ。ど。と。お。や。く。あ。く。と。す。ね。く。る
よう。く。す。じ。く。あ。う。に。あ。と。か。き。く。出。く。う。う。り。と。ア。れ。ど



から人のまゝれとわれ劣らず。あきびと。がまですゑ。世のまゝびきれちよ。ほねおのすかて。みのすゑと。かくづぐまゝあゝまのせたひそへさん。
 とて。あくびと。うれ國へあくよさり。舟えへ水の尾の風附え拂えきらひひとも。あれみのみことひづくや。
 ⑤ひし。おとこ。かうのつうひうづりきくふねうどんの
 まうよやくうそ。りうきのまなづくづよ。ひうきくは
 ふくあるかあづとぞ。半けうて。神をくへよだよ乃ぬみ
 うみ。男のせのめあよ。内乃ぬはひうそまのれうれい。
 うみ。すれざとひう。女をくづるに
 ふくやうる神のかづきもあくびと。おやまやびのまく御
 おとくへまてもみよらるる。神のひむら。ちうぢよ
 ⑥著男のせのまくけく女。ふくあうて。國へづくと。おとづれ

女 あやぢのねづくもあくびくみそのもくらをみうね
 ⑦著そとが有と。うとせと。こくまがくも。おぬ安のあくとく。
 やみがえきと。それぬ月のくづくのまくと。そとぞみく
 ⑧著ひし。おとこ。女をくづくみく
 いきよく。かきうちひあ。神もあくぬ。かくあくひくひう。耶
 ひし。男のせのまよぬ。ひきとて。あくと。ひく。神。女
 おやぢの。あく。あく。あく。あく。あく。あく。あく。あく。あく。
 と。うひて。すく。て。ほと。かく。けと。おとこ
 神。あれて。あまく。わと。び。あ。う。と。あ。う。と。や。ま。と。やす
 女 うと。あ。う。わ。と。う。わ。と。う。わ。と。う。わ。と。う。わ。と。う。わ。
 あ。と。う。わ。と。う。わ。と。う。わ。と。う。わ。と。う。わ。と。う。わ。と。う。わ。
 う。と。う。わ。と。う。わ。と。う。わ。と。う。わ。と。う。わ。と。う。わ。と。う。わ。
 ⑨著。二。ま。の。ま。か。ま。の。ま。か。ま。の。ま。か。ま。の。ま。か。ま。の。ま。か。

氏神おやしはまことにひきかへん。ほんねばくたにあらひきかへん
のうへはつはそよは車くるま。とうひりて。後あとでまくら
まくら
大車おおくるまをよもげよそへ神代かみよのよもひびきを
とて。かかむれりとやふひえん。ひどすひえんあらはり
ま
者ものがむれみどり。又またおへはしき。うの母おやぢ女めのこ彦ひこあ
きてとド。みそそうけり。う被かぶうせらのそ。安祥あんじょうちむつと區くる。
くわしげわそもうけり。まうあつやうねらうびづうある。
そそぐのさけりと。あるそそづけて。だうのあくとされば。ゆ
えよだうのまくよ。うれしゆくらひうらとくろ。そきとおちゆ
りあそびけ。あらうのほのゆきとよし。つぬそううそ。かうのと
り行ゆきよ。あとひくをやめうせ。けよの元もとを殺ころす。まかむ
そくまくまをき。おひまねみふうて翁おきなめいびかく。疾めまい
よのまくつてけよあまくはまのつけをとくとく。

とよみくらを今いまれどよくもあざうう。そとくもやせり。後うしろ
末
むし。たきことア女めのこ沛ひ。おひまくら。うせらひうそ七日しちの
みくき。安祥あんじょうちむつとく。太おおちむつらうれひゆそとく。人ひと
いまとひよき。うのみうぎよはうよはうでかひて。がくよひまくせば。臣おと
のうこれり。また。そひまかのまよ。たきよ。水みずはせ
き。とて。ありうろくほくれうひ。すうぞたまひて。と。お
よそにへたくまうとど。ちくへいきどたうまう。あひ
くよまくくうんとドうよ。アとトうくびくみて。表おもてのまよ
れまうけせきをかく。うれひうの太おお将しょう。そぞそがうくまよ。あ
はうのけ。やよ。あうせや。あら。べき。三さん事ごの。もやみゆきや
は。まの國くにの。ふ里さとの。もゆよよく。うとおりうさうまう
を。あやうとゆきの。うまうじうべ。ありくひら。うじうべ。まうの
くうじ。うじを。ちゆこの。もゆよよく。うの。うーをす

んとひきひて。みどりあいと緑してとひてつらふとづだいを
なきてりときぬ。ありきしよりへるすまわ。あれをうに
まきをくわせばーと。べにあよ魚をくわすのむはるを
のをう。あきなけをきだまくまのうひを身をまわ
あひももとひがくひろくのみとえをんよのあひじ
やなんよめうける

辛九
ひく。うらのうにみとまれてあくさり。かくよやくく
こよみそ。はねやぢぐぶくら。おまかねよある
ワがうちひろある陰をうへたき。夏あ波あき。さき
あれはだかどのアセ。とくにの人中おのふとくひく。あゆの
中かくんゆきひく。もすめのくわく
辛首
かくくへるあ。あらせたうへるく。あくさり。やよい
のうかりよ。のあらせたうがくのくくまうてまはれとて薄る

われつてぞまあおほう年はうらにまかづも。びじとく
辛一
ひく。ながいすまくらき。しまそがくう。せんのく。
う家けりに家ととがりくはくはく。すみちひく。林を
のほどり。がく。さてれだくわひけり。かくふ。みだらのちを
に。すりあ。みとくられそく。まきせて。あひとよまけのひ
あをひて。衣ひりてゆく。やどみのとめ。ちくわきとよま
くく。とむうとよあひけり。かく。かく。かく。ひだきのまひ
あひま。今まよまセてもく。よめく
あ下ぐ。ふうき。まんあまき。よほくす。み。あ。今まく
とう。後く。みくれ。よう。うけ。あやく。あく。き。あく。あく
うう。う。みく。す。よ。ま。の。や。あ。ほ。あ。と。よ。ま。に。か。う。ふ。う。
け。う。れ。う。み。み。す。よ。ま。の。や。あ。ほ。あ。と。よ。ま。に。か。う。ふ。う。
け。う。れ。う。み。み。す。よ。ま。の。や。あ。ほ。あ。と。よ。ま。に。か。う。ふ。う。

みをとて布ふる年ごとの様の衣ざりに。まことに
りほけうの財たのひまみうけくをばひめでゆきう。
はせてひじくあひさればもへはれりとねう。かくへなはす
てぬとのひまく。やまとひなわうう。ちうすゆのひ
あきさのひがうのんれ様とひあし。もれりとあひて。枝と
おでがざうにうて。みうきみうきよみう。じまはまきのむ
せんにまきてらくせんせばまひあひのひけうゆ
とうんよみうけ。よくのゆ

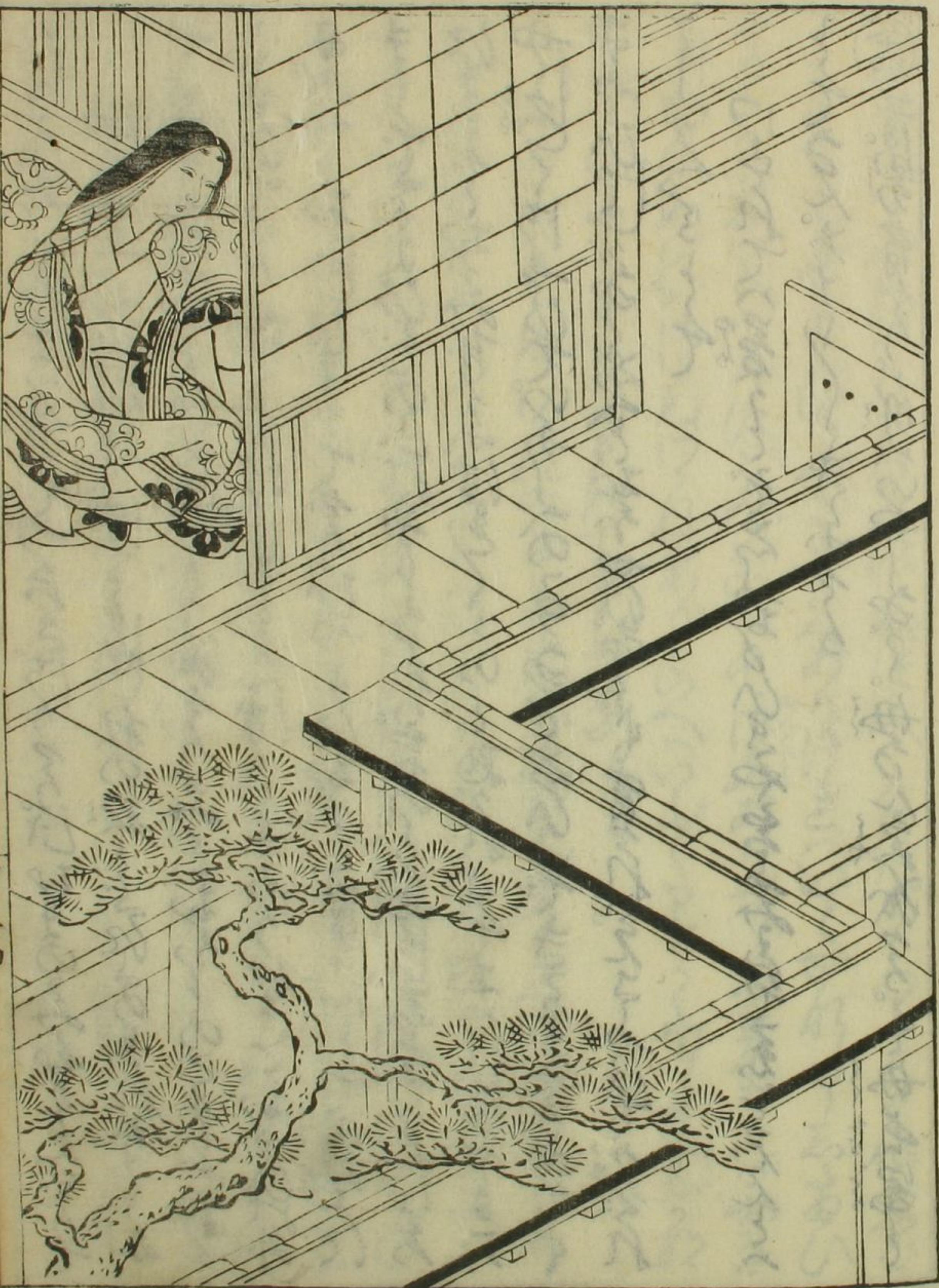
ちれざそひと。様ひがまかうきせよほうひく。うくき
そそうのあれとひまく。ふりれよあね。霞うりへゆく
せく。おどりひきう。おのむとのひんと。よれとれとれ。あひ
ふあまのひと。あひうね。ひいしのうみをまきまつ。アヒ
のなまひう。ひのとうて。あまのひれやくとひとひとひと

薄てさうづきうせのひまびとくをまうけ
かくじなびうづきふ宿とあまのひに残へきあくう
みこくを四もとす。あまひて。よーえー。ゆうだ。き乃
あひゆゆふほくまうれ。うれぐゑー

ひひせよひとひきまた。おまえ。おどりとあじとぞま
ひて。おひせきひね。おうるま。のとねじて。あひれ
ひひひて。おひすと。すま月もくをすね。のひまがの
あひ。あひはまがのむのからひひ。ひがで。おひす
みこにうううして。まくうて。すみあひは
をすみて。おひはまのひひ。おひひ。あれすみこひのひじあひ
まひひひひのうみたまもまひ。まひまうれ。ひひひ
まひひひたまひ。ひをくひて。まくひすと。おひ。おひ

(全)

ひひひひひ。あれすみこひのひじあひ
まひひひひのうみたまもまひ。まひまうれ。ひひひ
まひひひたまひ。ひをくひて。まくひすと。おひ。おひ



たまひぐくたまうとそづうとせばうじしまのみゆとあう
あくとえまのしきとさとせしれのやとごひうのまれかくみ
や。猪くす。時やよひのほざりあらう。みとあくとめのざりで。あ
しきのとぐ。かきまつてはまつてまづけと。もひ外
み。かくもじたまつてぐ。ひつまつちぐくまんとて。や
まつてまづみびくのとれまくとれん。まわてアシ
にまくとくみをまくはまくとくとわがれりと。お
やじくはまくとくとわがれりと。お
さくひじくまくとくとわがれりと。お
さくひじくまくとくとわがれりと。お

とえう。ちくく。まほろ
益。男育。めのめ。かく。母育。めのめ。

ひよ。すみやうり。こゑはやほくとあらわ。まども
くえまど。ひよふくありけむべ。わがうあひ
ち。さくま。おととづくに。とみのとくそくを
まつあ。かひわねづくに。おととづくに。わが
かひ。さくま。わがうあひ。わがうあひ。

金者。男有たり。ワタリはまつてけ。毛ぬぐ。あやすき
てぐう。むくよかゆびまく。ぞくう。ちややけのまく。だじく。
あなえまく。ぞど。それ。ぐるまのゆく。かうで。まく。ぞけまく。くま。
じく。まく。じく。ごく。せん。うり。あまく。まく。うり。あまく。
じく。あれ。がまと。おまき。ひのう。きそ。がまと。まく。じく。
うやまく。きそ。まく。うり。とく。を。ひそ。うやまく。
まく。うり。まく。うり。うり。うり。うり。うり。うり。

や従うればみことひくあらぐきて。西ぞなきそかうう
金むし。とりき男。つに女とあひてうそとも。も
有れ。ほそてひしてゆに。年はて。女の洋よれん
ざ。ともとやどひさん。男をうん。後でわねしき
ちまへ。今までよじられぬ人世もあし。あひるをねえば。ようんか。あふ

と。やまに。男も女も。あひるをねえば。ようんか。あふ
金。昔男はの國ひづの。君あ。やの里よき。まよひして。寝う。君あ。よ
り。おの。底ね。のあやきと。ぬあほの。をくも。じと。きふく。
や。従う。うとの。里と。従う。あ。ばう。あ。やの。さと。ひづ。ば男
うあ。やばくされ。それをたよりして。え。の。と。さ。と。あ。す。
きよ。う。ひ。男。この。う。も。え。の。う。み。う。う。も。く。れ。す。の。海。乃
やく。う。に。あ。き。ひ。あ。う。き。そ。ひ。ば。れ。う。と。よ。く。の。の。の。海
豆。よ。の。や。ん。と。ひ。て。が。う。て。ア。ク。う。の。た。き。お。よ。う。あ。と。あ。さ

千よひろこよび。うつちうるの。あ。と。よ。あ。き。ぬ。よ。く。成。く。ん
や。ね。う。あ。う.
え。も。る。く。へ。よ。け。つ。め。る。あ。や。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う.
あ。う.
豆。よ。の。豆。よ。の。豆。よ。の。豆。よ。の。豆。よ。の。豆。よ。の。豆。よ。の。豆。よ。
あ。う。

あ。う.
う。う.
と。従う。け。と。ば。が。と。ば。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と.
う。う.
く。
く。
け。
と。従う。家。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。
家。う。

そきぬ女がす。ももとたうひりそ。がへをもひて歩
くよ。やくうきり

ほり海のびにまよひすりきかねだはれぬうとう

ゆふくひすてへあむれうやまじすや

六首。うそよおぬれまほらを集て月をうき。あれ葉ひる

東うそよほらをもぞこれとのぼれづらおじうきの

七首。ひくよ。ゆくね男我よりへあむるひととひみてまう

人食ひづきとまきあひかのじのうみうきをかせん

八首。ひくよ。はとかに人をいどとおひしもりをねば。あく第

九首。ひくよ。あさりのあよとくとくつけば。せきうるくわく

えくばじめられ。れううとけつげんにつきて

獨れまくそゆくもかよもあがみゆくあはゆを

や。うよあくちくもあくべー

九十一

松機

ひくよ。内向のゆくをなぐりく男やよひはざりうよ
九十二
わや。もよおせやがうのゆかのゆく。れうよ。あくう
九十三
者。あくふかくうきて女にやうそこと。えでく傳る
九十四
あくぐたきとくのゆく。あくゆく。あくもくもくみ
九十五
ひくよ。男をひやくとく。あくたんをひひうろう。すこし
あくぬきのぬよ。有うぐとく。ひよきて。ひよひよて。傳る
九十六
あくくさひよ。あくまくうやきうよ。うよ
九十七
ひくよ。のれとく。世のうとくよやあくきん

九十八
者。男をうよ。いぐすくん。を男をよばゆくう。のうよやとこ
玉をれど。すくゆかくうかく。あふこそあねど。ゆくれわひとこ
せう。ゆくにあくくまくけむ。ゆくふやれううとくまれと
のゆすと。ひくひくうとく。うう。ひ男。うよく。あくき
ゆ。あくとく。ふくよ。ゆく。うとく。ど。れ。をがくみく



おまえおなじとおどりて坐てやうけ。秋のうす
秋のよみ青つともやうれやせみよきりやうはうん
やう。よあうけふ。女うへ

(九五) 蒼。二疊の辰。きくまう男のう。女のほくすうと。
えうりよひまうりふそねうひくわすれてもう。
かう事。まほくまんじひれ。女とおとおにまく。あはうで
ひかはひあらぬあまのあくわせき成るまへゆくよ
このくにめくあひみく

(九六) し。男有う。女とくくひくと。月日(よま)ひく木
あねがくだりよひさん。やくわむとおひく。木みみ
月日(よま)ひくだりされば。女かにひさひくとくふくう。女
ひとくをく。しまるまのゆき。かにひくとく

おう。身もとあやす。秋をそぞらうんとき。あらんとつづく。おまくらもひよ。かのことり。うのぐれゆく。うんとちからもとて。くせらで。きみくら。さうけとび。あさと。あさとひくよあらう。そればけ。がえでのくわくわをひうへ。すと落て。かきはけて。をくせく。

秋をそづく。あざもあかく。あ葉うるえを。秋のらはなよけ。まどあざと。うそをざれ。そりぬ。そやぞや。やもあう。がのふと。あまのふう。とくらう。う。あい。あく。やあん。いきな。ひくた。ひくほき。あく。のうひだと。やうわもあん。あくぬり。やあん。今もそへやもと。そり。たる。者ううの。あい。まうり。あと。ひそそのうとく。

軍のかまの。衆の。家じて。され。う。中将うう。おきま。

暮
九〇 者あきねや。すましまと。きく。あう。うはう。ま
つる男。長肩つる。じのほく。枝よ。ぎと。ほげて。まうと。そ
と。傍ぐまう。うれべ。と。あく。あく。びくまう。い。
使
九一 ひじかとの。る。傷の。ひく。骨。ひく。よそ。うけ。車姿。乃
四の。まく。す。れ。う。あ。う。ふ。か。く。れ。中。怪。う。け。男の。姿。で。す。う
き。み。ぎ。も。あ。び。え。す。せ。ぬ。の。ま。の。く。あ。や。か。け。る。あ。く。く。え
ス。あ。あ。ま。く。ね。ほ。う。あ。や。か。く。と。そ。と。そ。ひ。の。と。そ。あ。び。範
の。ら。べ。れ。と。あ。う。に。う。

百
九二 ひく。おと。経。済。教。の。と。ざ。ぬ。と。と。り。け。と。べ。あ。う。え。だ。ま
き。く。乃。西。つ。か。よ。う。つ。と。れ。ま。を。ま。の。と。あ。と。や。う。と。そ。び。と。そ

そぞうわく。だまうそ

えみふくらむ。かうにう
直よのき者。男おとこより。女めのこより。されど。事こととあひて。あらう。
あてたる。女めのこの。あまひき。せや。と。あひて。事こともあらう。
きよひと。さくみ。あらう。あやまち。さくみ。けむ。が。往むかで。やりう
ろも。と。きよひの。ねね。せの。うなごと。そよそひ。うま
と。す。うひ。いやけ。せま。乃おのまや。かう

眞り。男ありてすとせんやよ。あらうよ。あごのうきうち
うきうち。あくまきのみ。がみうへ。ほくまうけ。がめやまくや
あくろえん。みこくらればほひのひふ。とあひつうくろ。みて
まくねあくまのあくとくうみ。まどくわやひやばくをくまくね
と。うん。街。くやうけ。ばく。れきく。うづぎさよ
百^ハ音。あくちうとくくて。あまくうかうく。かくちとやにし
されど。おやゆく。ゆくまく。まくまく。よかうけ。と。男。情。で。ゆる

せばうのああとくをみるもあがまきのまゝか
され。ぬまの物とひきびく。アリのせんじてうえ
ぞ。アシテテアヒキヒムナリとす。
 〔五〕ひし。かとこかくてはあねとひやつり。され女
あもあけがけさんまにてなまゆ。きもあどを
と。じうれいとあやとあひれど。まつり。あらおり
 〔六〕者男。あこらのせんまく。かよまくのきを
ちもやる。神代。まがだう。あかくれのよあく。あとは
きる。あらのゆめとよびひく。されどまざわれ。あ
きし。かは。どくひもく。びちやく。はづく。彼あじ
かく。あとがせてやう。めきひから。と男の病。
ほもじめあはまう。海のそとおひりてわすれ。

ウ。きのあくこ女。かりて
 〔七〕あくこを神り。あらみ。ほゆ。かうとあがみん
と。じうれい。男とひきびく。ままでまにてふまく。室
てあり。とうん。うち。男とく。えくのう。う。あ
ゑのう。へき。う。とく。ひゆ。みき。ひあ。ごの
ゑ。あじとひく。とく。あとの男。女にうく。て薄ぐ。やまと
す。かうにあひ。もととひざみ。まと。ゑ。う。ぞ。は。れ。な
と。後でやれ。う。アの。も。せ。も。と。り。あ。で。あ。に。れ。て。ま。ひ。寝
 〔八〕ひし。女。ア。あく。う。を。う。ア。く
風。け。び。ぞ。に。波。く。と。く。わ。れ。や。づ。ま。う。の。が。く。は。ま。き
や。ほ。の。あ。く。ぐ。ま。ひ。く。体。ゆ。せ。ひ。く。れ。わ。く。
よ。あ。ぐ。た。か。う。れ。あ。ま。う。か。内。よ。あ。く。え。は。れ。る。か。ね
 〔九〕者。だ。と。と。う。う。の。人。を。う。き。あ。が。か。ふ。や。う。き。ふ



草花うちもくそあざかまれづれをまじめひとくじ
草ひし。おとこアタリにかよ女ありうり。それかとより。
こよしゆゑよすん。アカヒツムヒツアレバ。おとこ

さひあすうじでかるあれあらんおとこアスミ。なまじまひせよ
ほ撰草著男。やどきに育むはう。おとこをさすがぬをあつるものとは
いふ。あらわすえをさしき。さうとねくをあつるものとは
おとこものあらとすもとせうじがひからうどくとぞであらま

おとこく

あひとけみじめでまじめのまじめを(今)種とあくえん
草皇ひし。男。おとこひち。きうけ。女。おとこ。おとこたれへ
まもれあまはあやけ。う風を(今)ふるひたのひまく
星ひし。おとこやりあてかく

かくらぬいのうれや。おとこひふアス。おとこあくえん

畠ひし。にわのみ。とせう。およ行。まひひく。付。いまばさる
草あ。みげ。う。おひれ。ど。おとこ。おとこ。事。されば。おやうのた
かひそそぐ。せきひる。すう。め。おな。たと。おめきつむる
おまか。ひく。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ
わきけの。ゆき。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ
や。おとこ。おとこ。おとこ。男。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ
草五ひか。みらの園。う。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ
ア。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ
の。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ
を。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ
草六著男。すど。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ
おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ
おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ

何。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ

(夏七) ひく。みどり。ほき。うれしまる。すひそり
を我入てもひく。うれしまる。まのまへせ。あん

わうん。けく。あく。し。あく。し。
をわうん。けく。あく。し。あく。し。

(夏八) むく。と。あく。ま。や。つ。の。え。せ。下。う。く。と。あく。
若。男。下。く。を。と。の。せ。で。ひ。く。か。わ。ま。う。ま。と。下。う。く。

(夏九) あく。あく。木。あ。ま。ざ。に。あ。わ。れ。き。と。わ。な。か。の。う。わ。げ。か。す。
ひく。あ。あ。さ。る。お。と。の。う。み。と。と。ぐ。る。わ。ざ。ま。ば。ア。く。

(夏十) か。み。う。そ。今。あ。ざ。れ。あ。ま。う。ぐ。と。と。く。と。と。く。と。と。く。と。と。く。
ひく。あ。あ。さ。る。お。と。の。う。み。と。と。ぐ。る。わ。ざ。ま。ば。ア。く。

(夏十一) ひく。あ。あ。さ。る。お。と。の。う。み。と。と。ぐ。る。わ。ざ。ま。ば。ア。く。

(夏十二) ひく。あ。あ。さ。る。お。と。の。う。み。と。と。ぐ。る。わ。ざ。ま。ば。ア。く。

(夏十三) ひく。あ。あ。さ。る。お。と。の。う。み。と。と。ぐ。る。わ。ざ。ま。ば。ア。く。

(夏十四) ひく。あ。あ。さ。る。お。と。の。う。み。と。と。ぐ。る。わ。ざ。ま。ば。ア。く。

(夏十五) ひく。あ。あ。さ。る。お。と。の。う。み。と。と。ぐ。る。わ。ざ。ま。ば。ア。く。

(夏十六) ひく。あ。あ。さ。る。お。と。の。う。み。と。と。ぐ。る。わ。ざ。ま。ば。ア。く。

(夏十七) ひく。あ。あ。さ。る。お。と。の。う。み。と。と。ぐ。る。わ。ざ。ま。ば。ア。く。

(夏十八) ひく。あ。あ。さ。る。お。と。の。う。み。と。と。ぐ。る。わ。ざ。ま。ば。ア。く。

近代以將使事為端之在出來末代之人
今案也更不可用之此物語古人說不同
或稱在中將之自書或稱伊勢之筆作絃
彼有書落事等上古之人強不可尋其
作者只可覩詞華言葉而已

戸部尚書 在判

畫工 月岡丹下

彫刻

藤村善右衛門

寶曆六丙子

書林

柏原屋與市版

大坂心齋橋筋順慶町

年初冬吉辰

